

笑顔キラリ コミュニティひろば

さまざまな団地で行われた イベント活動をお知らせします。

笑顔がいっぱい URどうぶつえんとミニSL

● 都島リバーシティ (大阪市都島区)



10月3日、都島リバーシティの芝生広場と集会所で、親子連れが楽しめる多彩なイベントを開催。爽やかな秋晴れのもと、子どもたちの元気な声が団地内に響き渡りました。このイベントは、「コミュニティの活性化を図るとともに、広い敷地と緑豊かな住環境を広くPRする」

ために実施。ラクダやポニーなどと触れ合えるURどうぶつえんのほか、水と石段で走るミニSLパルーンアート、大阪工業大学の学生による大道芸、自治会によるカフェなどを企画。団地内外から多くの親子連れが集まり、笑顔あふれる楽しい一日を過ごしました。

ラクダ乗りには挑戦!

メンコって面白い!

なつかしの昭和にタイムスリップ! 昭和レトロ博覧会

● 白鷺(堺市東区)



10月10日、白鷺団地で昭和レトロ博覧会が開催されました。このイベントは今年URが創立60周年を迎えることを記念し開催されたもの。団地が建設された当時のままに残されたひのき風呂や台所、木製建具で昭和30年代の住宅を再現した部屋の見学や、集会所に再現されたなつかしの商店街を散策した来場者からは「当時の思い出がよみがえる」「子どもの頃に帰ったみたい」との声が聞かれました。会場ではペーゴマやメンコなど昭和の遊びが体験できるコーナーもあり、世代を超えて楽しむ姿が見られました。

地域住民の交流の場に ふれあいカフェUR大開 グランドオープン

● 大開(大阪市福島区)

福島区内で10地域目の地域交流拠点として「ふれあいカフェUR大開」が開所。開所式は9月14日に開所式が開催されました。開所式は大開生涯学習ルームの皆さんによる民謡で華やかにスタート。福島区長をはじめ団地住民など約100人ほどの

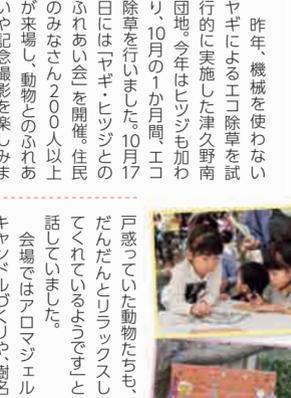


来場者がコーヒーやトーストを味わいながら親睦を深めました。ふれあいカフェは毎月月曜日に開催。世話代表の高橋勇助さんは「近所の人と話したり、興味のあつたことを語り合ったりすることが健康増進につながります。自分ひとりで悩まずに相談できる人に出会える。笑顔いっぱい元気もらえる。そんなカフェになってほしい」と話していました。

ヤギ・ヒツジとのふれあい会

● 津久野南(堺市西区)

昨年、機械を使わないヤギによるエコ除草を試行的に実施した津久野南団地。今年はヒツジも加わり、10月の1か月間、エコ除草を行いました。10月17日にはヤギ・ヒツジとのふれあい会を開催。住民のみならず200人以上が来場し、動物とのふれあいや記念撮影を楽しみました。自治会の村上徳幸会長は「当初は環境の変化に戸惑っていた動物たちも、だんだんとリラックスしてくれている様子で話していました。会場ではアロマジェルキャンドルづくりや、樹名札を手作りして団地内の樹に架けるイベント「おさんぽUR」も開催され、芸術の秋を満喫しました。



第2回 結果発表 まどから見るとっておきフォトコンクール

審査員特別賞
「無題」
窓枠を絡めて景色を表現したアイデアが良いです。景色にもう少し遊びがあればなおよし。タイトルは作品の意図を表しますので、ぜひ付けてください。
賀集哲哉 (明石舞子)



優秀賞
「バルコニーから見たみなとこうべ海上花火大会」
花火の広がりを見事に捉え、団地と部屋の明かりが雰囲気を引き出しています。全体的に花火の比率を増やせば、もっと迫力が出たと思います。
福永文男 (ポートアイランド)



審査委員長 松浦稔の
(写真家・JPS会員)

総評
第2回のフォトコンクールにも1000作品以上の応募がありました。1人で複数の写真を応募してくださった方もおられ、第1回と比べてもバリエーション豊かな作品ぞろいでした。風景写真を撮る際のポイントは「一枚撮って終わり」ではなく、同じ場所でも日や時間を変えて粘り強く撮ること。そうすれば「ただ綺麗」なだけではなく、とびぬけの効いた写真になります。

佳作
「雄飛」
鈴木涼子 (ささなみプラザ第4)



「名月が照らし出す街」
角美香 (高見フローラルタウン)

「谷間のゆうひ」
建物を画面の半分以上入れることで夕日が強調されています。建物を暗くしてシルエット調にすれば、夕日の鮮やかさが際立ったと思います。
鳥木晃 (ルゼフィール井吹台)



「雪景色」
冬の朝、窓から漏れる明かりが降り積もった雪を幻想的に照らしています。清らかな空気感が、色のトーンによりうまく表現されています。
津嶋文彦 (高見フローラルタウン)

団地の悩み話して解決 自治会役員が議論

● 自治会役員のための「コミュニティづくり」井戸端会議



9月30日、千里住まいセンターで自治会役員のための「コミュニティづくり」井戸端会議が開催されました。7月にも大阪・阪神エリアを対象に開催された同会議の2回目、今回は4団地11人の自治会役員が参加しました。コーディネーターの進行で「自治会の加入率を上げるために」をテーマに「自治会の魅力をどう伝えるか」「加入の勧め方など」を話し、参加者同士で意見交換。2時間30分の会議はあっという間に終了しました。参加者からは「同じ

悩みが共有できてよかった」「活発な議論で勉強になった」といった声が上がりました。10月29日には津久野南団地で泉北住まいセンター主催の井戸端会議を開催。9団地から17人の自治会役員が参加しました。この日の会議では自治会の加入率と「100%団地内の不法投棄をテーマに挙げられ、参加者は2つのグループに分かれて自分たちにできること」の協力が重要なことなどのような呼びかけが効果的かという視点で議論をしました。

DIYキャラバンツアー LIVE!! in 森之宮団地

● 森之宮(大阪市城東区)



ハロウィン当日の10月31日、森之宮団地でUR-DIYキャラバンツアー2015第4弾が開催されました。この日のテーマは「ライブ」集会所では音楽ライブが行われ、AZCATALPAアズカタルパさんをはじめプロのミュージシャンが熱唱。自治会によるカラオケ、UR職員による日のために結成したバンドも演奏し、会場を大いに盛り上げました。屋外で実施された、画家・ADMアディムさんによるライブペインティングには、子どもを中心に多くの人が参加。下書きに沿って色を塗り進めると、大阪の街が現れ、見物客からは大きな拍手が起りました。また、この日のワークショップは、ペットボトルとビーズを使ったマラカス作り挑戦。小さな子どもたちも完成したマラカスを楽しそうに鳴らしていました。その他、新しいベジション住戸・ステイタスなどを回るスタンパラリーや、人気のパスタカーでゴート

いっしょに店みつけ

富田(大阪府高槻市)えびす児童デイサービス

社会のルールやマナー 楽しくマスター

9月1日にオープンした児童発達支援・放課後デイサービス。身体・知的障害のある子どもが日常生活の基本的動作を習得するための療育と、柔道整復師の資格を持つスタッフによる機能訓練や運動療法を受けられることが特徴です。施設内には一日の行動や設備の使い方を説明した手描きのイラストが貼られ、子どもたちが視覚的に社会のルールを学べる仕掛けが施されています。12月からは未就学児の受け入れも始まり、子どもたちの笑顔の輪がますます広がっています。

のびのびと過ごせる、約90㎡のゆたかりとしたスペース

子どもたち1人ひとりに合わせた一日のスケジュール

大阪府高槻市牧田町7番富田団地56号棟3号室 ☎072-693-2910
 ◎通常時(学校がある日) = 月～金 10:00～19:00
 長期休暇時(春夏冬休み)および土曜日 = 9:00～17:00、機能訓練 = 月～土(要予約)
 ※利用時間は相談可。サービスの利用には障害者認定を受ける必要があります。